

MINIMINI MINES

平成29年度阿仁伝承館・秋田大学連携展

お雇い外国人メッゲルが残した **阿仁鉱山の近代化**

を開催しています

開催期間 | 平成29年10月13日(金)▷平成30年2月12日(月)

展示会場 | 北秋田市阿仁郷土文化保存伝承館



連携展ポスター

平成29年10月13日(金)から、北秋田市阿仁郷土文化保存伝承館で、阿仁伝承館・秋田大学連携展「お雇い外国人メッゲルが残した阿仁鉱山の近代化」が開催されています。この連携展は、明治政府が日本の近代化を進めるために雇った、ドイツ人鉱山技師メッゲルの阿仁での足跡をたどり、阿仁鉱山の近代化について解説するものです。

連携展では、解説パネルをはじめ、阿仁地域での調査により発見した古地図、メッゲルがまとめた「阿仁鉱山報告書」などの資料を公開しています。また、展示会場に隣接した阿仁異人館(重要文化財)は、メッゲルが企画し、下山した後の1882年(明治15年)12月に完成した外国人官舎です。こちらも併せてご覧いただけます。

ギャラリートークが行われました

開催初日の10月13日(金)、監修者である今井忠男鉱業博物館長が案内人となり、ギャラリートークが行われました。今井館長は、メッゲルが行った阿仁鉱山の改革について、輸送の流れを変えて効率よく輸送し、生産コストを下げたこと、選鉱や製錬の設備を機械化して銅の生産量を上げたこと、などを挙げて説明しました。ギャラリートークには約40人の方が参加し、展示パネルや資料を間近に見ながら解説に聞き入っていました。



展示会場



ギャラリートークの様子

阿仁郷土文化保存伝承館

開館時間: 9:00~17:00

休館日: 月曜(月曜日が祝日の場合は火曜日)

12月29日(金)~翌1月3日(水)

住所: 北秋田市阿仁銀山下字新町41-22

電話番号: 0186-82-3658

鉱山VRスマートマイニング展開催のお知らせ

開催場所 鉱業博物館 特別展示室

展示期間 平成29年11月下旬

体験型展示



鉱山VRシステム体験中の様子

平成29年11月下旬から、「鉱山VRスマートマイニング展」を行います。秋田大学では、平成26年(2014年)4月より、「バーチャル鉱山実習システム」を講義などで活用しています。このシステムは、通常では入ることが難しい鉱山開発の現場を疑似体験できるVR(バーチャルリアリティ)システムです。

当初、スクリーン型から始まったVRシステムですが、現在はヘッドマウント型VRが一般的になりつつあります。この特別展でも、ヘッドマウント型VR装置にスマートフォンを取り付け、鉱山の現場を体感することができます。また、映像は、日本を代表する3つの鉱山に加え、MEA(Mining Education Australia)の協力により、オーストラリアの鉱山も疑似体験することが可能となっております。臨場感あふれる映像とご自身の自由な操作で、鉱山を体感してみてください。

平成29年度第2回鉱業博物館開放講座 社会インフラの長寿命化とレジリエンスを開催しました

平成29年9月29日（金）、平成29年度第2回鉱業博物館開放講座が開催され、川上 洵秋田大学名誉教授が「社会インフラの長寿命化とレジリエンス（回復力・強靱さ）」と題して講演しました。日本では、地震、噴火、台風、豪雨等の自然災害が頻発しますが、その状況下での社会インフラのあり方についてのお話でした。

講演ではまず、高度成長期にインフラが大量に整備されたため、道路橋を始めとした構造物は築50年を迎えようとしている、と現状についての説明がありました。その上で、構造物は時間とともに劣化して性能が低下するため、定期的に点検を行い、メンテナンスすることが必要である、と述べました。



講演の様子



たくさんの方が聴講しました



川上 洵先生

また、被害が起きることを前提にして、できるだけ早く回復することを「縮災」と言い、それには、超早強性材料、超高強度、新素材、早期施工法などの、技術・研究開発が求められる、と話しました。

講演には40名を超える方が参加し、先生の分かりやすいお話に理解が深まった様子でした。多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。

秋田大学「地（知）の拠点整備事業」 ミニフォーラム 2017 in 北秋田で 今井 忠男館長が講演をしました



今井 忠男館長



講演の様子

平成29年10月17日（火）北秋田市民ふれあいプラザコムコムで、「秋田大学（知）の拠点整備事業ミニフォーラム2017 in 北秋田」があり、今井 忠男館長が「阿仁鉱山文化の広がりー鉱山技術と経済が残したものー」と題して講演を行われ、82名の方が聴講しました。

講演では、阿仁鉱山の銅の生産量と経済規模についての話がありました。江戸期に阿仁鉱山では、年間500トン前後の銅が生産されていて、これを「両」に換算すると18万両、「石」にすると18万石になります。今井館長は、秋田藩は20万石の藩だったので、阿仁の銅の生産規模がいかに大きかったかが分かる、と述べました。また、17～18世紀、阿仁の銅は東南アジアやインドに渡って胡椒や木綿に換えられてヨーロッパへ運ばれ、銅そのものは銅銭として使われていたと話し、阿仁の銅が世界に流通していたことについての説明がありました。

聴講者の皆さんは、時々うなずきながら興味を持って聞いていました。

お知らせ

平成29年度「東北文化の日」事業に参加しています

東北6県と仙台市は、毎年10月の最終土曜日とその翌日の日曜日（10月の最後の週末）を「東北文化の日」としています。これは、東北地方の多様な文化に県境を越えて親しめるように設けられたもので、平成29年の「東北文化の日」は10月28日（土）、10月29日（日）です。

鉱業博物館ではこの事業に参加しており、平成29年10月28日（土）から11月26日（日）まで期間中、「東北文化の日」のガイドブックを持参された方は、入館料を無料とさせていただきます。ガイドブックは参加施設、公立文化センター、図書館などで配布しています。



ガイドブックの表紙です

鉱業博物館無料開放予定

**11月3日（金・祝日）～
11月5日（日）**

教育・文化週間（文化の日）にちなみ、無料開放します。

年末年始及び冬季の休館日について

平成29年12月から平成30年2月までの期間、**日曜日・祝日は休館**いたします。

年末年始は**12月26日（火）から翌年1月5日（金）**までの期間、休館いたします。